



横浜シーサイドハムクラブ広報誌

「しぐなる」

2025 年版



移動運用 StyleBook 2025

無線機持って海に山に！ この1年の移動を振り返る！

横浜シーサイドハムクラブ(JJ1ZB0)の夏合宿が埼玉県比企郡ときがわ町の堂平山天文台で2泊3日で開催されました。当会は40年間一貫して移動運用の楽しさを追求し、単に無線運用だけでなく、登山、BBQ、キャンプ、花見などのお楽しみも交えた移動運用で楽しんでいます。

7月19日夏休み初日、横浜から堂平山までの道路は大渋滞、買出しもあり山頂着は横浜を出てから5時間後でした。室内チェックイン前に外のアンテナ設営を終えたいところです。1.8MHzのスロープアンテナ、3.5/7MHzのV型ダイポール、50MHzのΔループアンテナ、144~1.2GHzのGPアンテナを設営しました。

下界は35度の猛暑日ですが、標高900m弱の山の上は28度で窓を開けながら快適に運用ができます、眼下には関東平野が広がるロケーション、癒されます。この素敵な景色を見ながらオペレートスタートです。

残念ながらコンディションが全く上らず、期待した50MHz Eスポによる遠距離交信には至らず、一方7MHzのCWやFT8は呼ばれ続けました。FT8では144MHzで大阪や秋田からコールされ、あらためてFT8の魅力を感じたところでした。



【写真 上から】

- ① 堂平山天文台前で全員集合しての記念撮影、40周年に合わせてつくったクラブ旗を持って、記念ポロシャツを着て写真に納まった。
- ② 設置したアンテナ、左から3バンド GP、Radix の7MHzV型ダイポール、右隅にも3バンド GPを設置。部屋の窓から同軸ケーブルを引き込むため、多量のケーブルが必要。
- ③ 堂平山天文台内に展開したシャック、窓の外の風が通り抜け気持ちが良い、オペレート内でも話のネタになる。
- ④ 50MHzSSBの運用を行うJQ1UCA、今回は40周年記念カード発行をアナウンスすると応答率が高い、相手局からは「おめでとうございます」と祝意を述べられる局も多かった。



7MHz はいつでもたくさんの交信相手がいる、特に今回は CW と FT8 でオンエア、途切れなく呼ばれおそらく交信局数は 300 局超えだろう。

1.8MHzSSB はスロープアンテナの同調がうまくいかず初日は交信成立ならず、2日目は調整しなおした結果交信成立。次回以降もこのバンドでの交信局数を伸ばしたい。3.5MHz は主に SSB と FT8 での運用、やはりあつという間に全エリアとの交信に成功、アンテナが V 型ダイポールで同調できる帯域が小さく調整が困難だった、次回はワイヤー系のアンテナで運用してみたい。50MHz 以上は期待した E スポでの交信はできなかったが、それでもコンスタントにコールを受けることができた。1.2GHz 以上のバンドは 2.4GHz での交信は成立しなかったが 5.6GHz での交信に成功、やはり抜群のロケのおかげとテンションも上がる。

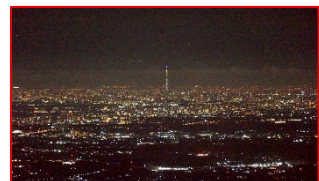
夜のお楽しみはやはり食事、持参したカセットコンロに同じく持参したフライパンで焼肉、餃子、ピザや焼き鳥まで、ビールで乾杯して今後の健闘を誓いました。

結果3日間で延べ 567 局と交信し、各局にクラブ 40 周年記念 QSL カードを送付いたしました。楽しみにお待ちください。



【写真 上から】

- ① 天文台の1階の食堂に並べられた無線機の数々、JJ1ZB0 登録の無線機すべてを現地に持ち込み、複数バンドでの運用を行った。
- ② 主に VU バンドでオペレートした JK1WQE、天文台外でライセンスフリー無線も楽しんだ。
- ③ 天文台前で持参の 2.4~5.6GHz の運用を行う JI1DXJ、5.6GHz のアンテナを微調整しながら交信相手を探す。
- ④ 夜の焼肉パーティー前にビールで乾杯、無線運用もちろん大事だが、混信（懇親）を深めることも大切にしている。
- ⑤ 天文台2階寝室からの都心の眺め、中央にはスカイツリーが見える。元々東京天文台があり、星空観察にも絶好なロケ。



夏合宿の参加局／JF1PMF、JK1UBI、JP1STX、JL1KBS、JK1WQE
JI1DXJ、JQ1UCA

移動運用この一年② 秦野市弘法山ハイキング&移動運用 2025. 6. 1

メンバー5名は9時に秦野駅に集合し、徒歩で弘法山山頂(234m)を目指します。

途中にある湧き水「弘法の清水」で水を調達。さらに30分程歩いたところで登山口に到着。

昨日までの雨により地面は湿っていましたが、登山道はきちんと整備されていて登りやすかった印象です。途中、権現山の山頂(展望台がある広場があるところ)を経由して11時には弘法山頂に到着。

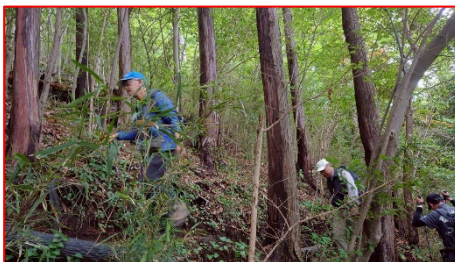
登山客が多かったので、邪魔にならないよう展望台の少し奥のベンチを陣取って各々交信の準備を開始しました。

JK1UBIとJN1CDOはHF帯での交信のため、コンパクトアンテナをリュックに背負って持ってきましたが、皆さんSWRの調整には苦労していました。

JQ1UCAも12時前には遅れて山頂に到着。カーボンロッドアンテナでアンテナチューナーをかませて7MHzを運用スタート。

しかし、この日はあまりコンディションが良くないようで、電波が届かず苦労していたようです。

今回はハイキング中心の企画で、徒歩で下山する必要がありましたので、運用は短時間で、13時には撤収し鶴巻温泉駅方面へ下山を始めました。



【写真 上から】

- ① 秦野駅からの途中の湧き水で水を補給した
- ② 秦野側から弘法山頂に向け登りはじめます
- ③ ゆっくりと2時間かけて弘法山山頂到着！
- ④ さっそく電波を出すため設営開始！

横浜シーサイドハムクラブ創立 40 周年記念 移動運用 & QSL カードの発行

JJ1ZB0 横浜シーサイドハムクラブは、1985年1月13日創立で40周年を迎えました、その前後の移動運用では右にある記念QSLカードを印刷発行しています。

ハムフェア2025会期中の移動運用でも発行します。



下山途中のY字路で、足が疲れてどちらに行けば楽に駅の方に降りれるか悩んでいた時に、私達の前を疾走するトレイルランニングの女性がいきました。1分位して、その方がわざわざ私達のところに戻って来て道を案内して、また走り去って行きました。なんて親切な人。

お陰で思ってたより早く下山できた感じです。ありがとう！皆さん足に疲れを感じながら 14:30 ごろには駅に到着でき、解散。

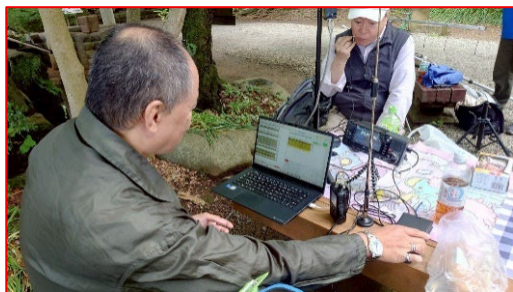
7K3DBJ と JF1PMF は、その後お蕎麦屋さんでビールで乾杯！皆さんお疲れ様でした！！

秦野駅から弘法山経由で鶴巻温泉駅までは、通しで歩くと2時間半から3時間かかります。登山靴での登山が必要な場所です。



【写真 上から】

- ① アンテナ調整中の JK1UBI
- ② こちらもアンテナ設営中の 7K3DBJ
- ③ 7MHz を運用中の JN1CD0、タブレットで FT8 も
- ④ FT8 モードを運用中の JK1UBI、ノート PC で
- ⑤ 全員集合で下山前に写真撮影となりました



編集後記…ページ余白に無理やり編集後記を挿入しました（笑）。移動運用の楽しさと臨場感を持たせるため今回も写真をふんだんに使用。今年は寒さや雨にたたられたものも多かった。

移動運用 StyleBook2025～無線機持って海に山に！この1年の移動を振り返る！～

著作／横浜シーサイドHAMクラブ 発行／2025年8月23日

本文・写真など内容の無断転用・転載・転売・複製を禁止します。

詳しくはクラブ公式 web <http://ysscycokohama.blog.fc2.com/>



真冬の山に登山と移動運用として実行しましたが、想像以上に過酷な環境で思うような運用ができませんでした。

参加局は JF6AYW/1 と JQ1UCA の2局でした。横浜を7時に出発し車で現地に標高 1600mほどの上日川峠には10時に到着。すでに雪景色でした。

車を停め上日川峠からおよそ1時間半で大菩薩峠に向かいます。冬山ということですれ違う登山客も少ない登山でした。途中の福ちゃん荘でうどんを食べて暖を取り、正午に大菩薩峠に到着しました。

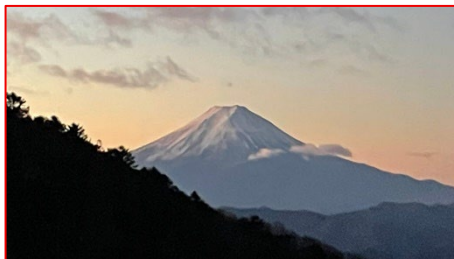
本日の宿泊地の介山荘という山小屋へのチェックインには時間が早いので、記念撮影してから大菩薩嶺という山頂を目指すことにしました。ここからの1時間がとても過酷で強風吹き荒れる中尾根を歩いたため体が完全に冷え切ってしまいました。

13時に大菩薩嶺に到着、視界が開けない山頂なので記念撮影をしてすぐに引き返すことにしました。

14時には大菩薩峠に到着、東屋で固形燃料で火をおこしお湯を沸かしカップラーメンとおにぎりを食べることにしました。冷え切ったからだにアツアツのカップラーメン、ほんとうに命を繋いだ(笑)ラーメン、生き返りました。

15時に介山荘にチェックイン、宿泊者は私たち2人と他に1人で登山に来ていた女性の合計3人でした。山小屋のオーナーはとても気さくでサービス精神旺盛、団体さんのキャンセルがあったそうでこんな少ない人数となったそうです。部屋は個室で山小屋としてはものすごい環境の良さでした。

夕食はオーナーのお宅が農家ということで野菜たっぷりのおかずと白ワインがサービスで出ました。おいしい勝沼ワインだったのでおかわりしました。そしてカレーライス、山小屋の定番。こちらもおいしくいただきました。



【写真 上から】

- ① 介山荘横からの富士山、朝の赤い富士
- ② 上日川峠登山口の様子、ここでも残雪がありました。
- ③ 山頂である大菩薩嶺、寒すぎて顔が赤い JQ1UCA
- ④ 極寒の山頂往復後に東屋でカップ麺をする JF6AYW/1
- ⑤ 介山荘の夕食、山小屋と思えない豪華、白ワインも



食事のあとは部屋からなんとか移動運用できないかと、持参の IC-705 に直付けのロッドアンテナで 430MHz にオンエア、窓際に近づき何とか 10 局ほどと交信できました。消灯までの間は宿泊客 3 人でおしゃべりをしていました。21 時消灯。

翌朝、6 時に起床、お天気はまずまず、日の出前の富士山をどうしても見たいと早起きして、外に出ます。氷点下 8 度、風強く体感氷点下 15 度ぐらい。きれいな夜明け前の富士山を見ることができました。

一旦山小屋に避難、体を温めてからご来光を拝みました。朝食も本当に豪華なお食事、おいしく食べて力をつけた。

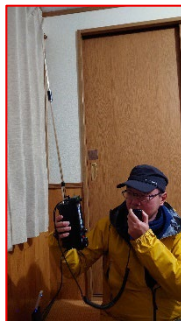
再度外に出て日の出後の赤い富士山を撮影、そして荷物をまとめ、オーナーにお礼を言って小屋前に出ました。偶然シカの足跡をみつけ、山小屋近くの崖地にいたシカの親子を見ることができました。

さて、9 時からいよいよ移動運用といきたいところですが、まず風が強く運用どころではない、寒すぎる。さらには直前に購入した 50MHz のポケットダイポールは自宅で調整してきたはずが、SWR が全く下がらず、50MHz の運用は断念しました。

JF6AYW はハンディ機で 430MHz を運用、次々コールを受けます。JQ1UCA は IC705 に直付けのロッドアンテナで 144MHzSSB を運用、まず当会メンバーの JL1KBS と交信、その後一瞬パイルアップとなりましたが、あまりの寒さに長時間の運用を断念。2 人で 20 局で打ち止めとなりました。

昼には下山し、天目山温泉に立ち寄り体を十分に癒して、横浜に帰ることとなりました。

とても良い移動運用場所なので次回はもう少し暖かい時期に来たいと思います。介山荘もオーナーのご対応含めてとても気に入りました。



【写真 上から】

- ① 介山荘の部屋で IC-705 にロッドアンテナで 430MHz 運用 JF6AYW、埼玉の局ばかり交信。
- ② 介山荘前の岩場に立てかける IC-705、144MHzSSB は直付けのロッドアンテナでオンエア
- ③ 部屋の中からポータブル機をハンディ機のように手に持ちながら運用する JQ1UCA
- ④ 極寒の大菩薩峠で 144MHzSSB の運用を行う JQ1UCA
- ⑤ 介山荘の朝食、これまた夕食と同様に豪華なもの、自家製野菜が特に美味しかったです。

横浜シーサイドハムクラブは移動運用を主体としたクラブ活動を展開していますが、その形態は、

横浜市内での運用(体験運用を兼ねて)、車で出かける運用、ハイキングや登山を兼ねた運用、本格的なオペレートを目的に宿泊運用の4つですが、今回はハイキングを兼ねて高尾山に集まりました。

今回はメンバー7名+お友達3名(女性)の10名の 大所帯、いつになく女性の比率が高いです。午前8時半に高尾山口駅に集合、既に多くのハイカーたちが山に向かっていきます。紅葉シーズンの最中であり多くの方が来るのは想定していましたが。

ケーブルカーに乗り、終点から徒歩10分ほどの広場(ここはハイキングコースから外れているため落ち着いて移動運用ができる)にレジャーシートを敷いてベンチをテーブル代わりに運用をしました。

50MHz と 144MHz はポケットダイポールと IC-705 を使って運用、430MHz は 3 エレ八木を使って手持ちのハンディ機での移動運用となりました。

寒い一日でしたのでポケットストーブに固形燃料でお湯を沸かし、各自カップ麺をすすめることに。体を温めながら思い思いに運用を楽しみました。

途中一部メンバーは山頂まで行ってみましたが、もの凄い人で運用はできないと改めて確認した。

また、お友達として参加していただいた元さんと長南さんがいわゆる体験運用に参加してオペレートを体験。メンバー局の指導を受けながらおしゃべりを楽しみました。お二人とも初めてとは思えないほど落ち着いてお話していたのが印象的でした。これをきっかけに資格取得いただけるとよいですね。



【写真 上から】

- ① ケーブルカー終点駅で記念撮影
- ② ポケットダイポールで144MHz 運用の JN1CD0
- ③ お友達の長南さんにオペレートを披露 JP3MOS
- ④ ハンディでのんびり JF6AYW
- ⑤ 高尾山頂の混雑ぶりがこの写真でおわかりいただけるはず

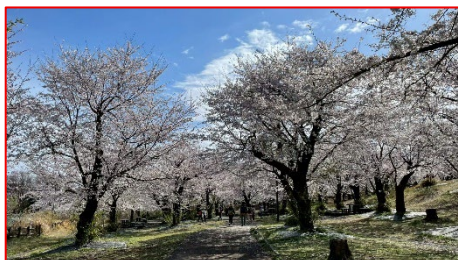
旭区二俣川駅近くの、こども自然公園にてお花見を兼ねた移動運用を行いました。

今年も満開の桜の下での移動運用とお花見です。当日は11時ころから雨が降り始めるとの天気予報が出ていたので、朝7時台には桜山の頂上付近のテーブルを確保！その後ぞくぞくと会員が到着！

最初はまずまずのお天気でしたが、予報通り次第に雨がちらほらと降ってきました。それでも参加者はIC-705やハンディ機などとHFはカーボンロッドアンテナ、VUバンドはポケットダイポールや小型の八木アンテナなどを設置し、7、50、144、430MHzなどで運用できました。

雨が10時過ぎ頃から一時降り始めたため、11時には撤収せざるを得ませんでした（残念！！）

7名参加で全体で15局ほどしか交信できませんでしたが、思い思いのスタイルでお花見とお酒を楽しみながら運用を行うことができました。



【写真 上から】

- ① 撤収後にこども自然公園の桜をバックに参加者全員で記念撮影
- ② こども自然公園の桜、毎年楽しませてくれる、ここにはBBQ場があり、予約できれば移動運用を行いながら花見とBBQも楽しめる。
- ③ 桜山のベンチを陣取り、無線機と酒とつまみを広げ移動を楽しむ、手前の八木は430MHzの5エレ八木にハンディを接続し運用した。
- ④ 手前は50MHzポケットダイポール、今回は同調もばっちり活躍、奥はCQオームで調達のカーボンロッドアンテナ、IC-705とAH-705を接続すれば7MHz～50MHzまで運用できた。
- ⑤ ネット調達の小さな脚ポールにカーボンロッドアンテナを差して自立させた。
- ⑥ クラブの特徴は、無線の運用成果だけを追い求めるのではなく、メンバー間の交流や自主性を重視したクラブ活動をしています。今回も缶チューハイが飛ぶように出ていました（笑）。

当会にはビギナーメンバーも多く、移動運用先でオペレートに尻込みしているシーンを見ることがありました、また、移動運用は短時間のうちに多くの相手局を捌くことも多いことから、通常とは異なる、移動運用専用のオペレーションマニュアルを作成して、会員に共有しています。

今回その内容の一部を特別に紹介します。



最初に言っておきたいこと…

- ◆ 話す順序に決まりはない、臨機応変に対応しよう。マニュアルはあるが自由だ。
- ◆ 最低限、互いのコールサインと、シグナルレポートは確認し合わないで交信成立とならない。
- ◆ 移動先では多くの局が交信を求めてくる、必要以上に長く1局に時間をかけない。

それを念頭において、430MHz FMでの移動運用をまずは例にしてみましょう。

【CQを出してみよう】

◎まずは、運用に使用するため空き周波数を確認します、確認のために電波を出してみましょう

(例) 周波数チェック、この周波数混信妨害与えませんか？ (これを数回確認)

◎確認し問題ないようでしたら、呼出周波数(430MHz FM でしたら 433.00MHz)へ周波数を合わせ

(例) ハローCQ、CQ、CQ、

こちらは【J J 1 Z B O (フォネティックコードで言う)】ポータブルワン

◎◎市◎◎山移動、(市町村名+移動地を言う)

どちらかご入感の局ございましたらQ S Oお願いします。

次回、4 3 3. ○○(先ほどの空き周波数)で待機します、コールお願いします。

◎空き周波数へ移動して

(例) メインチャンネルからQ S Y局いらっしゃいますか？こちらは【J J 1 Z B O (フォネティックコードで言う)】ポータブルワン、◎◎市◎◎山移動(市町村名+移動地)です、どうぞ。

◎相手局からの応答を確認

(例) 了解しました。【相手局コールサイン (フォネティックコードで言う)】こんにちは、コールをいただきありがとうございます。



◎ハッキリ聞き取れない時 大勢に一度に呼ばれた場合は断片的な情報から絞り込む

(例)「もう一度お願いします」、あるいはわかる範囲で聞き返しても良い「Aのつく方どうぞ」

◎お互いコールサインが確認出来たら、

以後はフォネティック・コードを使わず交信しても大丈夫です。

会話の「はじめ」と「おわり」にコールサインを言う。そして、会話は「了解」ではじまり、「どうぞ」でおわる。

(例) 会話のはじめには

了解しました。(相手局コール)、こちらは、
ＪＪ１ＺＢＯポータブル１です。

(例) 会話のおわりには

お返しします、(相手局コール)、こちらは、ＪＪ１ＺＢＯポータブル１です。どうぞ！



◎シグナルレポートの交換 交信成立には互いのレポート交換が必須です

(例) こちらからレポート、５９（ファイブナイン）をお送りします。

(例) レポート、５９確認しました。(ありがとうございます)

◎運用地の交換（ショートＱＳＯとしたい時は不要）

(例) こちらの移動地は、◎◎市◎◎山移動です。

(例) ○○県○○市（郡区町村）からの運用ですね、確認しました。

◎名前の交換（ショートＱＳＯとしたい時は不要）

(例) 自分の名前を相手に伝える場合

私の名前は吉田、吉野の「ヨ」、新聞の「シ」、タバコの「タ」に濁点、ヨシダです。

(例) 相手の名前を確認した場合

お名前、○○さんとコピーしました。

◎ＱＳＬカード交換の約束

（ショートＱＳＯとしたい時は不要）

(例) ＱＳＬカードは、ＪＡＲＬ（ジャール）
経由で御交換をお願いします。

(例) カードの件は了解です、こちらからも

ＪＡＲＬ（ジャール）経由でお送りします。



◎その他の話題　あまり呼ばれない時などは以下のような話題にも触れ長めに交信してもよい
 自分の移動運用の様子を相手にわかるように伝える
 (例)「今日は横浜シーサイドハムクラブのメンバーで移動にきています」
 (例) お天気の様子　「こちらのお天気は、◎◎です」
 (例) 自己紹介　「今年の〇月に開局したばかりでまだ初心者です」
 ※慣れない場合は、まずは相手の発した話題にオウム返しでよい。
 ※相手の話題にも「いいですね」「楽しそうですね」など思いを伝えよう。



◎交信終了のあいさつ (ファイナル)

(例) こちらからファイナルを送る場合
 今日はF B (とても良い) なQ S O (交信) ありがとうございます。
 ○○○○○○／○ (相手局) こちらは、J J 1 Z B O ポータブル1です。
 またお会いしましょう、7 3 (セブンティスリー) さようなら！
 ※相手が女性の場合は8 8 (エイティエイト) さようなら！
 (例) 相手からファイナルを送られた場合
 こちらこそ、今日はF B なQ S O ありがとうございます。7 3 (8 8) さようなら！

コールサインは欧文通話表で
 フォネティックコードを
 使って確実に伝えよう!!

使わないでコールサインを
 言うと、例えば「C」と「T」
 「B」と「D」などはどちらか
 判別がつきにくい。



名前は和文通話表で
 確実に伝えよう!!

文字	使用する語	カタカナ表示	文字	使用する語	カタカナ表示
A	ALFA	アルファ	N	NOVEMBER	ノベンバー
B	BLAVO	ブラボ	O	OSCAR	オスカー
C	CHARLIE	チャーリー	P	PAPA	パパ
D	DELTA	デルタ	Q	QUEBEC	ケベック
E	ECHO	エコー	R	ROMEO	ロミオ
F	FOXTROT	フォックスロット	S	SIERRA	シエラ
G	GOLF	ゴルフ	T	TANGO	タンゴ
H	HOTEL	ホテル	U	UNIFORM	ユニフォーム
I	INDIA	インディア	V	VICTOR	ビクター
J	JULIETT	ジュリエット	W	WHISKEY	ウィスキー
K	KILO	キロ	X	X-RAY	エックスレイ
L	LIMA	リマ	Y	YANKEE	ヤンキー
M	MIKE	マイク	Z	ZULU	ズル

ア 朝日のア	セ 世界のセ	ヒ 飛行機のヒ	リ リンゴのリ
イ いろはのイ	ソ そろばんのソ	フ 富士山のフ	ル るすいのル
ウ 上野のウ	タ 煙草のタ	ヘ 平和のヘ	レ レンゲのレ
エ 英語のエ	チ ちどりのチ	ホ 保険のホ	ロ ローマのロ
オ 大阪のオ	ツ つるかめのツ	マ マッチのマ	ワ わらびのワ
カ 為替のカ	テ 手紙のテ	ミ 三笠のミ	ヰ あどのヰ
キ 切手のキ	ト 東京のト	ム 無線のム	エ かぎのあるエ
ク クラブのク	ナ 名古屋のナ	メ 明治のメ	ヲ 尾張のヲ
ケ 景色のケ	ニ 日本のニ	モ もみじのモ	ン おしまいのン
コ 子供のコ	ヌ 沼津のヌ	ヤ 大和のヤ	ゝ 濁点
サ 桜のサ	ネ ねずみのネ	ユ 弓矢のユ	。 半濁点
シ 新聞のシ	ノ 野原のノ	ヨ 吉野のヨ	
ス すずめのス	ハ はがきのハ	ラ ラジオのラ	